

平成26年度
林業普及指導事業外部評価検討会

森林経営計画の作成と実行支援 (智頭町森林組合)

東部農林事務所八頭事務所
農林業振興課 森田章文

普及目標

森林経営計画の作成と実行(目標とする
素材生産量の達成)を支援する。

- ・労働生産性の向上による目標素材生産量の達成
- ・素材生産量の目標値

智頭町森林組合

12,000m³ → 15,000m³

課題

- ・森林経営計画作成の進捗率が低いため、間伐等素材生産に支障が出ている。
- ・森林作業道開設技術のレベルアップ
- ・搬出システムの効率が悪いため、労働生産性が低い施業団地がある。
- ・幹線(林業専用道)と支線(森林作業道)が適正に配置されていない施業団地が散見される。

課題への対策

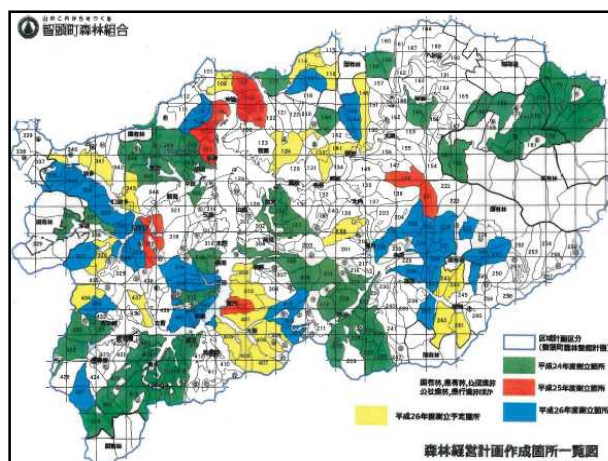
- 1 森林経営計画の計画的な作成支援
- 2 作業道開設技術向上支援
- 3 施業団地の生産・搬出システムの改善支援
- 4 林業専用道の開設プラン、有効活用方法について提案

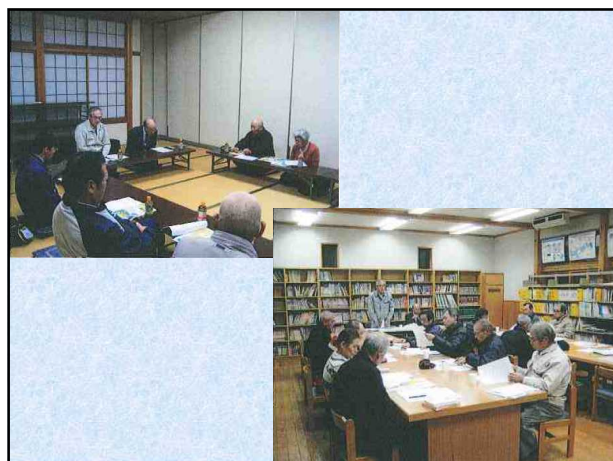
取組内容と成果

1 森林経営計画の計画的な作成支援

集落説明会(10回)や個別相談等を通して作成活動を支援した。

- ・智頭町森林組合管内
24団地を作成あるいは作成中
H24～26作成済団地数 58団地
団地面積 7,456ha(管内民有林面積の43%)





2 作業道開設技術向上支援

平成26年に開設された作業道を森林組合職員と踏査し、改善点等について助言した。

○助言内容

- ・横断工の設置位置や角度
- ・盛土法面の施工

その結果、水抜き処理、路肩・の処理等に、改善が見られる。

- ・踏査路線数
智頭町森林組合管内 10路線



3 施業団地の生産・搬出システムの改善支援

- ・森林組合の役職員の意識改革



- ・フォワーダからトラックへの変換
- ・山土場の設置・活用



- ・路網を有効利用した大量搬出システムへの転換が進行中

今までの搬出システム



トラックによる直送

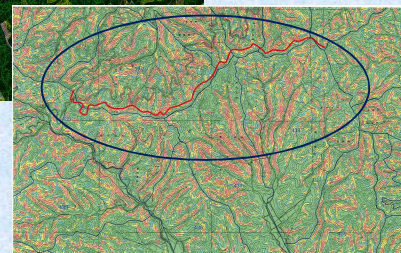
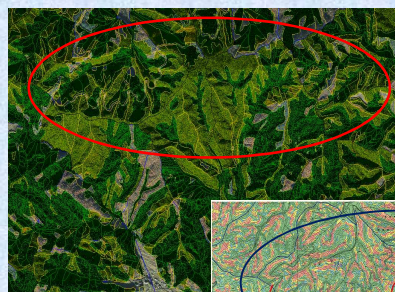


4 林業専用道の開設プラン、有効活用法提案

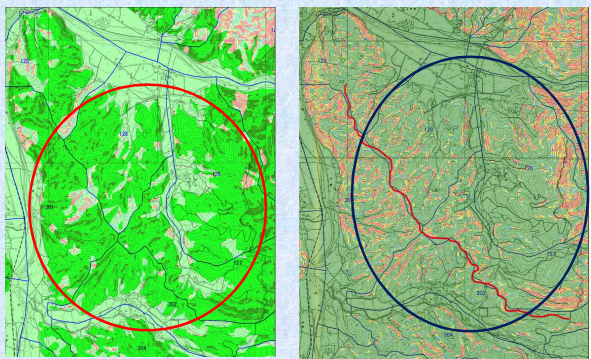
- ・幹線がないため、素材生産が円滑に実施できない団地対策として、林業専用道のルートを森林組合に提案。



林業専用道(観音寺線)



林業専用道(山根線)



素材生産量と森林作業道開設実績

○智頭町森林組合

・素材生産量

15,000m³ (目標 15,000m³)

・森林作業道開設延長

12.2km (目標 10km)

今後の取組

平成27年度から原木需要量の一層の増大(大型チップ工場の操業開始、木質バイオマス発電所の稼働)が予想され、その事態に対応する取組が必要。

○施業団地の搬出システムの更なる改善・施業効率向上支援

- ・フォワーダ運搬 → トラック運搬
- ・大型トラックが通れる作業道の開設支援(カーブ設定技術の普及)

御清聴ありがとうございます。